

平成19年度 事務事業評価表		担当	都市開発部 都市計画課				内線等	1322
事務事業名	公園整備事業					事業コード	3. 建設事業(ハード事業)	
根拠法令等	蒲都市都市公園条例・規則					B 条例	C 規則	

総合計画での位置付け

基本目標	1. 人と自然が共生する潤いあるまちづくり	施策名	公園・緑地
------	-----------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象(受益者)	都市公園利用者のために
手 段	都市公園を整備、修景緑化を進めることにより
想定する成果	憩いの場を提供する

事業の概要

項 目	平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度計画	
各種公園整備費	16公園	5,006千円	16公園	0千円	16公園	480千円
各種公園植栽費	28公園	755千円	28公園	272千円	28公園	915千円
修景緑化工事費	28公園	235千円	28公園	0千円	28公園	100千円

成果指標

成果指標名	公園施設の改修率
成果指標の説明	改修済公園 / 改修該当公園 × 100

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		56.30%				56.30%				56.30%			
成果指標													
事業費	事業費	5,996				272				1,495			
	人件費	12,454				10,312				5,606			
	(人数)	正規	1.6	非常勤	0.0	正規	1.2	非常勤	0.4	正規	0.5	非常勤	0.7
	合計	18,450				10,584				7,101			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	18,450				10,584				7,101			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	1	1	施設が老朽化した公園のリニューアルの整備。(16公園)
経済効率性	2	3	2	2	直営にて対応できるものについては直営にて努力している。(撤去等)
事務効率性	2	2	2	2	人員にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	3	3	3	3	誰もが安全で快適に利用することができる公園として、市が整備していく必要がある。
小計	9	10	8	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	公園の整備拡充は必要な事業である。
合計	11	10	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	施設の更新時期を見極めて効率よく整備する必要がある。
------	---	---	---	---	----------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
メンテナンス費用のかからない施設遊具等の充実を図ることにより、自然に近い癒しの空間の公園としたい。
上記改善点の実施状況
維持管理等メンテナンスのかかる遊具等の削減。

今後さらに改善すべき点

老朽化施設は補修・更新して住民の憩いの場となる公園整備を効率よく進める。

平成21年度予算に反映する項目

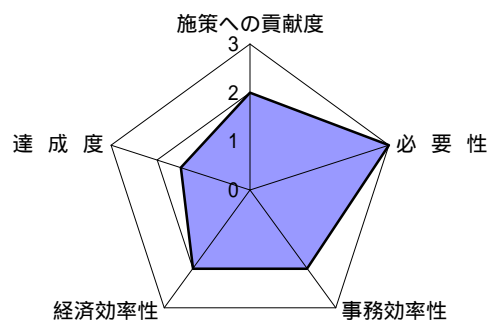
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点